

〈第4号議案〉

平成23年度事業計画及び支出予算について

(案)

1 全団体向け事業

(1) 電子申請・届出システム

ア システム運営費（電子申請・届出システム機器賃借等）

電子申請・届出システムの運営に必要な機器の賃借及びシステムメンテナンス、障害対応等システムの維持管理に要する経費

① 主な内容

項目	主な内容
電子申請・届出システム機器賃借	各種サーバ、ネットワーク機器、端末機器及びソフトウェアに係る賃借料
システム維持管理業務	機器(ハード・ソフト)保守費、稼働データ(ログ等)収集・分析・内容確認、システムメンテナンス、障害対応、各種運営支援、インターネット側サーバー証明書の取得及びインストール、ヘルプデスク データバックアップ用媒体(LTO、DAT等)の購入・廃棄費用
機能改善	小規模改修
LGWAN-ASP 接続料金	ASP 接続監視料、ASP 運営管理料、LGWAN 利用料等、LGWAN-ASP としてのあいち電子自治体推進協議会が LGWAN 接続にあたって、LGWAN 運営主体に支払う費用等

イ データセンター運営費

電子申請・届出システム及び協議会 WEB システムの24時間365日運用を行うため、サーバやネットワーク機器の監視などを行うとともに、LGWAN接続のために必要な機器の運用を行う。

また、セキュリティ対策として、セキュリティ診断を実施する。

① 運用・監視の内容

項目	主な内容
センター設備賃借	ハウジングルーム：専用エリア 56 m ² (1 区画)、免震台付ラック、機器電源
システム運用・監視	共通基盤、電子申請・届出システム、協議会 WEB システムの運用・監視 ・24 時間 365 日システム機器監視 ・稼働監視、性能監視、オペレーション、障害対応、媒体保管等 ・報告業務 1 回／月

ネットワーク接続	上流インターネット接続回線：50Mbps 県 NOC～データセンター間接続回線：LGWAN 接続（高速イーサネット専用線 主系 100Mbps 従系 10Mbps）
セキュリティ運用	セキュリティ診断：システム脆弱性の評価・分析
L G W A N 運用	LGWAN 接続機器運用 ・ LGWAN 暗号化ルータ運用、LGWAN-ASP 接続装置運用

ウ 高度情報通信ネットワーク（防災無線）保守運営費

L G W A N の従系回線である愛知県高度情報通信ネットワークの行政ルータ設定情報の管理業務及び障害発生時のネットワーク切り分け業務や緊急対処を有するセキュリティ対策支援業務等を実施する。

作業項目	作業内容
行政ルータ設定情報管理	<ul style="list-style-type: none"> 行政ルータ設定情報の管理 行政ルータ設定情報のハードウェア保守業者への引き渡し
セキュリティ緊急対策支援	<ul style="list-style-type: none"> 行政ルータにセキュリティ上の甚大な脆弱性が判明した場合の対処実施 予防保守方法の検討支援
外部ネットワーク切り分け支援	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア保守業者による障害切り分け以後の L G W A N、行政ネットワーク、市町村 L A N のネットワーク切り分け 行政ネットワークに異常が認められた場合の復旧支援

エ 調査・研修費

(ア) 調査費

- 電子自治体構築に係る各種説明会・研修等への参加

(イ) 研修費

- 研修会、講演会等の開催

オ 事務費

区分	内容
総務費	総会、幹事会の開催、事務局運営補助 要員賃金、通信費、消耗品費等
電子申請・届出システム	<ul style="list-style-type: none"> 市町村、団体等連絡旅費
データセンター運営	<ul style="list-style-type: none"> 会議用資料等 郵送、振り込み手数料
共同セキュリティ監査	<ul style="list-style-type: none"> 契約収入印紙 その他
	共同セキュリティ監査費（事務局分）
計	

(2) あいち L G W A N アクセス

あいち L G W A N アクセス運営費

L G W A N の主系回線であるあいち L G W A N アクセスの運用にあたり必要な費用を支出する。

ア 共通経費負担額

県 N O C ← → イーサリンク網

イ 帯域別料金

イーサリンク網 ← → 各団体（各団体において選択した帯域）

(3) その他事業

セキュリティ監査費

セキュリティレベルの維持・向上を図るため、各団体における情報セキュリティ監査（外部監査）を共同で実施する。

〔平成 23 年度実施内容〕

（ア） インタビュー監査

庁内外サーバ、ネットワーク機器を管理・利用する職員に対するインタビュー

（イ） リモート診断

インターネット上のサーバ、ネットワーク機器のセキュリティ脆弱性についてのリモート診断（各団体 3 I P 以内）

平成 2 2 年 9 月 3 0 日付け照会により参加団体を決定

〔平成 2 3 年度： 5 3 団体（平成 2 2 年度： 5 2 団体）〕

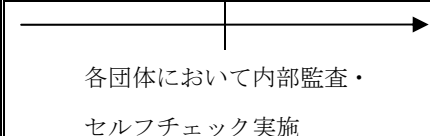
情報セキュリティ研究会検討結果概要

平成22年9月29日

1 経緯

(1)平成 19 年度時点での検討(抜粋)

- ・ レベルにはばらつきがあり、今後、インタビュー監査の内容・要否や技術的診断の要否等各団体にとって必要なセキュリティ対策・監査内容は異なることもわかった。
- ・ アンケート調査からも経費的な面で共同での事業実施を望む声は多数であり、引き続き共同で実施する意義はあると考えられる。が、実施にあたっては、参加する全ての団体が実施可能で、メリットを享受できる内容とする必要がある。
- ・ そのため、各団体の規模や実情が異なっているという前提を十分に考慮した事業形態・実施内容に見直す必要があると考えられる。
- ・ 3年程度試行的に実施し、今後の方向性を見極めることとする。年度毎の参加団体数や各団体が求める実施内容にばらつきがある等の結果となった場合は、事業そのものの廃止もあり得る。
- ・ 平成 20 年度以降のスケジュール案については以下のとおり。

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
技術的診断	リモート診断	オンサイト診断	オンサイト診断	オンサイト診断
セキュリティ の取組に対する 監査	インタビュー 監査			インタビュー 監査

(2)平成 22 年度共同セキュリティ監査の方針(平成 21 年度に検討)

各団体の監査を受ける体制を整えるためインタビュー監査は平成 22 年度は実施しないこととし、内部監査人研修を実施することとした。

オンサイト診断は引き続き実施することとした。

2 平成 23 年度の共同セキュリティ監査の方針について

情報セキュリティ研究会にて審議した結果、インタビュー監査とリモート診断をを実施することとした。

理由：インタビューによる監査を実施する理由は以下のとおり。

- 平成 17 年度から 19 年度に実施したインタビューによる監査を PDCA サイクルを回すことによりさらに改善を図るため。
- 平成 19 年 7 月 6 日に国の情報セキュリティポリシーガイドラインの抜本的な改訂を行ったので、ガイドラインへの対応状況が前回と同一ではない。

- 情報セキュリティポリシーへの遵守状況が人事異動により変動がないか確認が求められる。

リモート診断による監査を実施する理由は、オンサイト診断の代用として費用を抑えつつ技術的な情報セキュリティレベルの維持を図るため。

なお、来年度は外部監査の実施により内部監査を行う余裕がないと考えられるので、内部監査人養成研修は行わない。

なお、費用の逡減を図るため、インタビューによる監査及びリモート監査を同一契約で実施する。

3 その他

平成23年度共同セキュリティ監査への参加申込の照会を行い、幹事会を経て決定する。

協議会事務局もインタビュー監査の対象とする。

監査前に過去の指摘事項の対応等を行っておきたい団体があると想定されるので、手助けの方法を検討する。

リモート監査のIP数は平成19年度の実施状況を参考に3IPとしたが、入札の結果費用が余ったときに追加で発注する方法を検討する。

2 特定団体事業

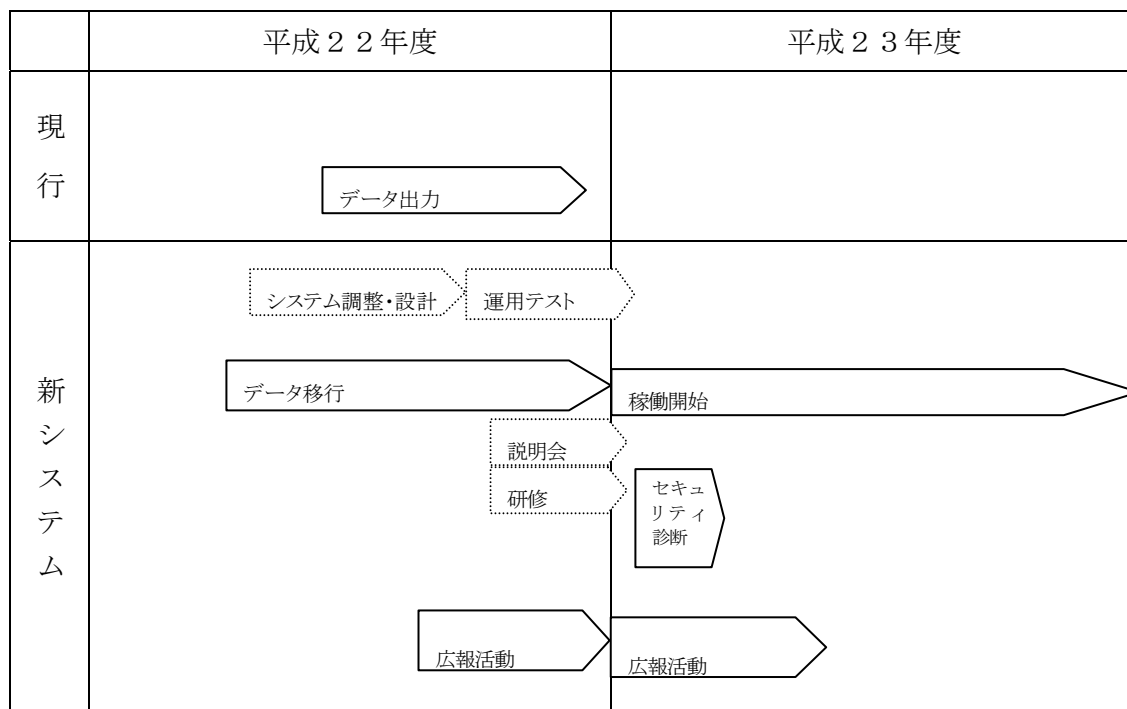
1 施設予約事業

① 事業費

ア システム開発費（共同利用型施設予約システム開発）

平成23年4月から稼働開始する次期システムの調達に係る一時経費を負担する。

（次期システム稼働開始に関するスケジュール）



主な内容

項 目	主 な 内 容
カスタマイズ作業	ASP/SaaS 方式により次期システムのカスタマイズ作業を行う。

イ システム運営費（運用支援業務）

共同利用型施設予約システムの24時間365日運用を行うための、システムの運用監視、ヘルプデスク業務に要する経費。

主な内容

項 目	主 な 内 容
運用支援業務等	システム運用監視：メンテナンス等各種作業の実施 ヘルプデスク：9:00～17:00（年末年始を除く毎日）

ウ その他経費

- (1) 新たにシステム参入することに伴いデータ移行作業や操作研修を行う。
- (2) 施設予約システム利用促進用のパンフレットの印刷費用
- (3) 負担対象団体は新規参加団体(知多市、田原市)のみ

② 事務費

- (1) 通信費
- (2) 消耗品費 等

2 電子調達（CALS/EC）事業

① あいち電子調達共同システム（CALS/EC）事業概要等

ア 概要

本システムは、国土交通省が使用する「電子入札コアシステム」を基本として開発したシステムであり、入札参加資格登録から、発注見通しの公表、指名通知、入札・開札、結果の公表までの一連の電子調達プロセスを、インターネットなどの情報通信技術を利用して行うことを可能としている。

平成23年度は、システム更新計画に基づき、具体的な移行作業を行う。

イ システム構成

- (ア) 入札参加資格申請システム（共同事業）
- (イ) 電子入札システム（共同事業）
- (ウ) 入札情報サービスシステム（PPI）（共同事業）

ウ スケジュール

	平成23年度	平成24年度
現行システム	<div>稼動中</div> <div>定時申請 受付</div>	
新システム	<div>詳細設計・構築・移行</div> <div>機器・データセンター ・回線調達</div>	<div>稼動開始</div>

② システム開発費

新あいち電子調達共同システム（CALS/EC）の移行作業等を実施する。

主な内容

項目	主な内容
新システム移行作業等	詳細設計・移行・構築
	機器・データセンター・回線の調達

③ システム運営費

ア システム運営費（システム開発者経費）

あいち電子調達共同システム（CALS/EC）の24時間365日運用を行うため、システム開発者によるシステムメンテナンス及び障害対応等システムの維持管理、ヘルプデスク、研修に要する経費。

主な内容

項目	主な内容
機器保守	システム開発者による機器保守費用
システム開発者運用監視	システム開発者によるシステム運用監視、障害対応費用 稼働データ（ログ等収集）、セキュリティ対策、障害対応、 各種システム運用支援等
ヘルプデスク （発注者／受注者対応）	発注者、受注者用ヘルプ費用 平日（月～金）AM9：00～PM5：00 フリーダイヤル及び E-mail による電子調達システムに 関する発注者、受注者からの各種問い合わせ
導入教育（発注者研修）	発注者に対する操作研修等費用 PC を利用した操作研修

イ システム運営費（機器賃貸借経費）

あいち電子調達共同システム（CALS/EC）の運用のための機器賃借に要する経費。

運用内容

項目	主な内容
機器賃借	各種サーバ、ネットワーク機器、端末機及びソフトウェア に係る賃借料（平成23年9月から平成24年3月まで再 リース）

ウ システム運営費（その他運営経費）

あいち電子調達共同システム（CALS/EC）の稼働に付随する、電子入札コアシステム保守料、バックアップ媒体消耗品等の費用に要する経費。

運用内容

項目	主な内容
コアシステム年間保守料	電子入札コアシステム年間保守料
その他運営経費	システム稼働に係るバックアップ媒体等消耗品、記憶媒体処理費、予備費等

④ データセンター運営費

あいち電子調達共同システム（CALS/EC）の24時間365日運用を行うため、あいち自治体データセンターにおけるサーバ、ネットワーク機器、LGWAN-ASP 接続機器等の機器賃借、その機器保守、監視等システム運用支援。また、セキュリティ対策のためのセキュリティ診断実施に要する経費。

運用内容

項目	主な内容
センター設備賃借	ハウジングルーム：専用エリア、免震台付ラック、機器電源、付帯設備、キーボックス
システム運用・監視	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日システム機器（サーバ、ネットワーク機器等）監視 ・稼働監視、性能監視、パフォーマンステスト、第一故障対応、媒体保管等 ・報告業務 1回／月
ネットワーク、LGWAN 接続	上流インターネット接続回線、LGWAN 専用回線
セキュリティ運用	セキュリティ診断：システム脆弱性の評価・分析
LGWAN-ASP 運用サービス	LGWAN 接続機器運用 <ul style="list-style-type: none"> ・LGWAN 暗号化ルータ運用 ・LGWAN-ASP 接続設備運用

⑤ 事務費

ア 通信費

イ 事務消耗品費 等

3 電子調達（物品等）事業

① あいち電子調達共同システム（物品等）事業概要等

ア 概要

本システムは、物品・役務の調達に関して、入札参加資格登録から、発注者見通しの公表、指名通知、入札・開札、結果の公表までの一連の調達プロセスを、インターネットなどの情報通信技術を利用して行うことを可能とする。

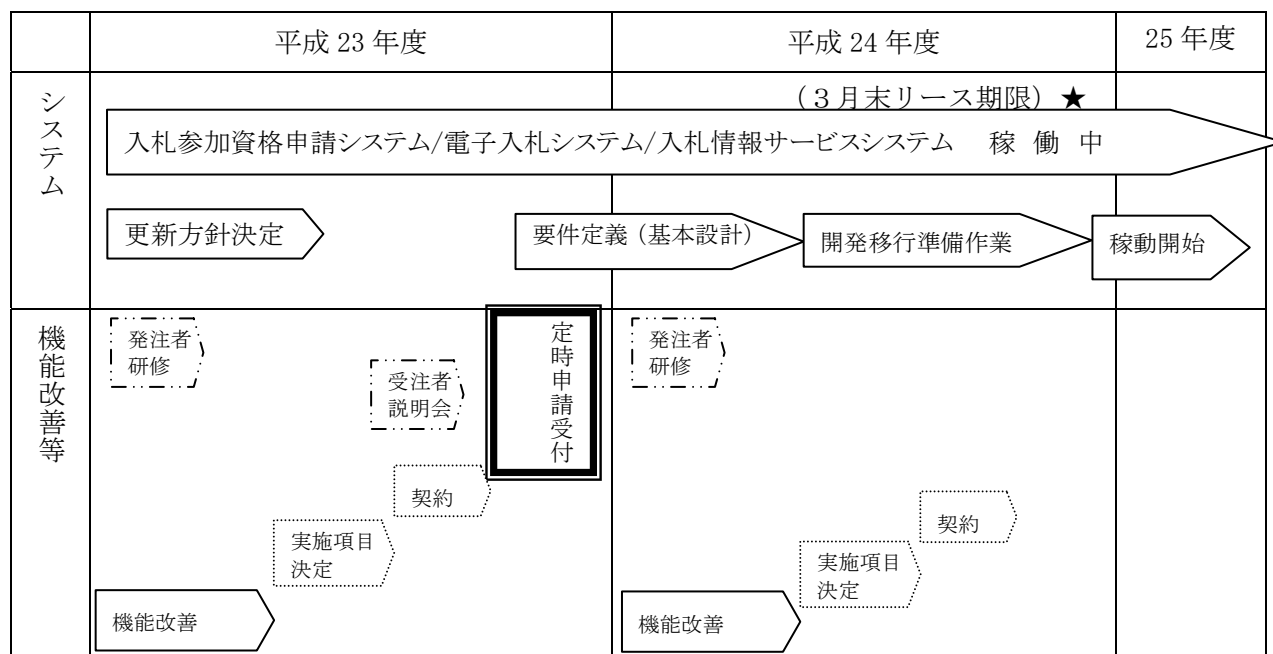
平成18年度に基本設計及び詳細設計、19年度にシステム製造、入札参加資格申請システムのテスト・実証実験を行い、平成20年1月から入札参加資格申請システムの運用を開始した。また、20年度に電子入札システム及び入札情報サービスシステムのテスト・実証実験を行い、8月から電子入札システム及び入札情報サービスシステムの運用を開始した。

23年度は、平成24年度末にシステム機器の更新時期を迎えるにあたり、システム機器更新計画を検討し具体的な方針を決定する。また、平成24・25年度入札参加資格審査申請の定時受付に関する受注者説明会の開催及び参加団体から寄せられる意見・要望等を基に必要な機能改善等を実施する。

イ システム構成

- (ア) 入札参加資格申請システム（共同事業）
- (イ) 電子入札システム（共同事業）
- (ウ) 入札情報サービスシステム（PPI）（共同事業）

ウ 機能改善等スケジュール



② システム運営費

ア システム運営費（システム運用・保守関連経費）

あいち電子調達共同システム（物品等）の運用・保守、障害対応、ヘルプデスク運営、研修会開催及び機能改善等に要する経費。

主な内容

項 目	主な内容
入札参加資格審査申請説明会（受注者側）	受注者に対する平成 24・25 年度入札参加資格審査申請の定時受付に関する説明会
システム操作研修（発注者側研修）	発注者に対する操作研修等（PC を利用した操作研修）
ヘルプデスク運営（発注者／受注者対応）	ヘルプデスク運営
機器保守・システム保守経費	システム開発者による機器・システム保守
システム維持管理経費（開発者運用監視サービス）	システム開発者によるシステム運用監視、障害対応
システム機能改善経費	参加団体利用者の要望等を基にシステム機能改善（システム機器更新検討経費及び定時受付関係改善経費等も含む。）

イ システム運営費（機器賃借経費）

あいち電子調達共同システム（物品等）の運用のための機器賃借に要する経費。

運用内容

項 目	主な内容
機器リース経費	各種サーバ、ネットワーク機器、端末機及びソフトウェアに係る賃借料

ウ システム運営費（その他運営経費）

あいち電子調達共同システム（物品等）の運用に付随する、電子入札コアシステム年間保守、Webサーバ証明書発行料、バックアップ媒体等、消耗品等に要する経費。

主な内容

項 目	主な内容
コアシステム年間保守料	電子入札コアシステム年間保守料
その他運営経費	バックアップ媒体等消耗品購入、記録媒体処理、その他経費

③ データセンター経費

あいち電子調達共同システム（物品等）の運用のための、あいち自治体データセンターにおけるサーバ、ネットワーク機器等の監視、L G W A N 接続のために必要な機器運用・支援及びセキュリティ運用等に要する経費。

運用内容

項 目	主な内容
センター設備賃借経費	ハウジングルーム：専用エリア、免震台付ラック、機器電源、

	付帯設備、キーボックス
システム運用・監視経費	24 時間 365 日システム機器（サーバ、ネットワーク機器等） 監視 ・稼働監視、性能監視、オペレーション、第一次障害対応、 媒体保管等
ネットワーク接続経費	上流インターネット接続回線、LGWAN 専用回線
セキュリティ運用経費	パケット監査
L G W A N - A S P 運用サービス経 費	LGWAN 接続機器運用 ・ LGWAN-ASP 装置運用 ・ LGWAN 暗号化ルータ運用

④ 事務費

ア 通信費

イ 消耗品費 等